



クマのままでいたいと思ったクマ

Original Title: Der Bär, der ein Bär bleiben wollte

原作: イエルク・シュタイナー

構成・演出: 藤沢弥生

出演: 及川均 & 藤沢弥生

宣伝美術: 及川新平

一匹のクマが冬眠しているあいだに、森へ人間達がやってきて・・・

人間の身勝手さと自然のままのクマでいたかったクマを、

シンプルな二人芝居で面白おかしく表現します。

想像力の翼を広げて観てください。



撮影: 井上浩二

★公共交通ご案内

地下鉄東西線

【南郷18丁目駅】下車

3番出口から地上へ

すぐ隣がバスターミナル

南77・85・86番に乗車

約5分「北野3条3丁目」

バス下車



9月29日(日) 13時開演

★開場は30分前です

会場: コミュニケーションスペース **Bliss Tree**

札幌市清田区北野2条2-11-17

入場料: 1500円(当日 1800円) 高校生以下 500円

御予約先: モケレンベンベ・プロジェクト

tel&fax: **011-206-0804** (及川)

mail: mokele@rr.iij4u.or.jp

モケレンベンベとは、アフリカのテレ湖に棲むという幻の恐竜です。

その意味は「虹とともにあらわれるもの」。私たちは既成のワクにとらわれず自由な表現活動をめざしているプロジェクトです。1990年より演劇公演、各種ワークショップ、映画上映会などを行っています。2015年、拠点を札幌に移し「虹のしっぽ」と名付けた場所で新たにギャラリーカフェ「hot cafeほっぺた館」、民泊も営業しています。

この作品は2021年、近所のフリーマーケットで初演後、道内、青森、東京など屋内、野外で公演。さらに昨年からは英語版でも公演、合わせて30回以上の上演を続けてきました。 <http://www.mokelembembe.net/>

後援: 札幌市 札幌市教育委員会